

## 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターで診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

**研究課題名：** 抗菌薬適正使用活動とタゾバクタム/ピペラシリンの使用量に関する研究

### 研究の目的

薬剤耐性は、世界的に重要な課題であり、日本でも薬剤耐性アクションプランが策定されています。このプランでは、薬剤耐性化率の低下や抗菌薬使用量の削減を目指しています。

当院で使用される注射用抗菌薬の一つ、タゾバクタム/ピペラシリン（TAZ/PIPC）は、緑膿菌を含む広範囲の細菌に対して効果を示していますが、近年その使用量が増加しています。このため、抗菌薬適正使用支援（AS）が推奨されており、教育・啓発活動が重要視されています。

TAZ/PIPC の使用量の増加を受けて、当院ではその実態を医師や薬剤師に報告し、教育プログラムの有用性を明らかにします。

**研究実施期間：** 令和6年11月18日 ～ 令和8年2月28日  
（倫理審査委員会承認日）

**対象となる方：** 令和5年3月から令和7年2月までに当院に入院して、タゾバクタム・ピペラシリンを含むすべての抗菌薬が投与されていた方。

### 利用させていただきたい試料・情報について

（他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む）

当院のカルテに記録されている情報のうち、抗菌薬の使用量、使用した患者さんの腎機能と抗菌薬使用後の患者さんの状態について、標記研究課題実施のために利用します。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先	研究代表者
	所属：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 薬剤室 氏名：花田 和大 電話：0172-28-8220